

つなぎあって元気に

2008年 新年号

平山光子後援会
事務所
大牟田市原山町1-5
0944-53-1661
自宅
大牟田市倉永1651
0944-58-1252

あけまして

おめでと

うざいます



2008年、子年が明けました。皆さま方にはいかがが新年をお迎えでしょうか。

昨年一年間は、選挙に明け選挙に暮れた慌ただしい一年でした。暮らしにはまだまだ明るい希望が見えてきませんが、変革を求める風が吹き始めていることを感じさせてくれる年でもありました。皆さまに力強いご支持をいただき、市議会へ送っていただいていたから8カ月あまりが過ぎました。この間、いろいろな場で教育現場が

らの声を届け、六月議会と十二月議会では一般質問の機会をいただき、次のようなことを訴えました。

机椅子など、施設設備の充実を未来を担う子どもたちにとって最大の教育環境である教師が、一人ひとりの子どもにじっくり向き合う時間や心の余裕がないほど超多忙で疲れ切っていること

学校現場でまず切実に願っているのは、よりよい授業を工夫し準備するための「時間」と、直接子どもと関わる「人手」(専科教員や少人数学級の実現)であること

少子化対策としても、働き過ぎの職場環境は見直していく必要があるとして法整備が進んでいること

「まちづくりは人づくりから」



健やかな子どもたちの成長が大牟田の明るい未来を支えていきます。その大切な仕事を担っている教師が疲れ切っていて、ストレスによる病休・休職も増え続けている、定年制の延長が叫ばれるこのご時世に、60歳を待たずに辞めていく教職員が続いている(昨年の福岡県の教職員退職者517人のうち、定年退職は158人、約70%は若年退職)、これは決して正常な姿ではありません。

大牟田の、そして、日本の未来を担う子どもたちの教育環境をよりよいものにしていくために、また、誰もが元気に安心して暮らしていけるまちづくりのために、今年も精一杯頑張っていきたいと思えます。

昨年に引き続き、皆さまの温かいご支援・ご鞭撻をどうぞよろしくお願い致します。

光子の部屋

2008 新年号

2007年冬期の主な活動

- 11月30日 通学区域審議会
連合南筑後地協総会
- 12月1日 市政研究会
母と女性教職員の会学習会
- 12月7日 教育厚生委員会
- 12月10日 港湾交通特別委員会
- 12月11日
母と女性教職員の会 陳情
市長、教育長に、30人以下
学級の早期実現と学童保育所
の全校区設置、施設の充実を
陳情しました
2000人以上の署名が集まり
ました。
- 12月12日～25日 12月議会
18日 一般質問
教育予算確保、教育環境整
備、子どもの安心・安全、男女
共同参画社会の実現等につい
て質問しました。
- 20日 教育厚生委員会
- 12月22日 暴力追放大会(上官)

県政・市政報告会

1月26日(土)10時～12時
勝立地区公民館であります。
松尾議員、湯村議員と共に12月
議会の報告を行います。ご出席
をお待ちしています。



12月議会で一般質問を行いました

マニフェストは実現可能？

市長はマニフェストで、教育予算の8%確保や、審議会委員等の女性の登用率現行17.5%をH22年度までに35%にすることを約束しています。その実現性と具体的な努力を確認しました。実現に向け努力するとの市長答弁でした。

教育問題について

教育環境の整備(施設・設備も、人も)の必要性と、研究過熱が子どもの学力向上につながっておらず、教職員の多忙を招きかえって子どもから安心を奪っていないかと具体例を挙げ質問しました。施設・設備の措置や安全への配慮に向け努力するとの答弁はありましたが、研究の過熱については、相変わらずの「研究の大切さ・・・」の見解を繰り返されました。

少子化対策

男女共同参画社会の実現は国の少子化対策でもあり、教育の役割が重要、本市の学校公簿における混合名簿の実施率や大牟田市で作られた男女共同参画カルタの学校活用の考え等を聞きました。答弁で混合名簿の実施率は他市と比べ大変低いことが明らかになりました。

教職員の声を聞いて 改善を！

最後に、ある先生の「子どもに向き合う時間

を・・・」という切実な声を紹介し、状況を改善するためには、現場の声をよく聞くべきであると訴えました。

皆様のお声をお寄せください。(後援会事務所か自宅まで)
後援会だよりで紹介させていただく場合もありますので、お名前と連絡先もお願い致します。

余分にお届けしている後援会便りは、ぜひ支持者の方、ご近所の方にお届けください。まだ事務所にあります。連絡いただければ持参いたします。

